YOKOHAMA MAIL NEWS

JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION
JR東日本輸送サービス労働組合
横浜地方本部

HOMEPAGE Twitter

2025.09.19 No.004

申１号

南武線ワンマン運転実施に関する検証及び安全・安定輸送を求める申し入れ提出！

これまで私たちは2023年11月「南武線におけるワンマン運転拡大について」の提案を受けて以降、労使議論を行いましたが施策に関する詳細が明らかにならないばかりか、横浜支社は「2025年3月ダイヤ改正および業務執行体制の見直し」をもって形式的な提案を行い、一方的に施策実施を進めようとしたため2024年度申6号にて詳細提案を求めるも対立、2024年度申7号では南武線ワンマン運転実施の一旦中止を求めましたが、最終的に議論が成熟することなく南武線はワンマン運転の実施に至っています。現在、南武線のワンマン運転は実施から6カ月が経過し日々の運転状況や様々な事象やお客さまの声などを鑑みる限り、安全・安定輸送、サービスの向上には程遠い現実であると認識しています。改めて南武線ワンマン運転実施に伴う課題の解決を図るべく申し入れを行い交渉に臨みます。

申し入れ事項

【解明項目】

1. 南武線におけるご利用状況の実態と今後の見通しについて明らかにすること。具体的にはSuicaの入出場記録、車両データ等から詳細を示すとともに、今後の見通しについては自治体のデータ等を踏まえ見解を示すこと。
2. 運転時分・乗降時分についてワンマン運転実施以前は基本的に遅れないように設定することが望ましいとしていたが実施後の変更点を明らかにすること。
3. ワンマン運転実施以降の引継ぎ時、折り返し時の基本動作・機器整備の手順について、以前は細かな手順については南武線オフィスの指導によるとしていたが詳細を示すとともに、それに伴う労働時間の変更の有無について明らかにすること。
4. 長編成ワンマンにおける停止位置修正の取り扱いについては中編成ワンマンを基本としたうえでエンド交換を行うとしていたが、これによらない場合の取り扱いの詳細と考え方を示すこと。
5. 乗降確認モニター故障時の取り扱いと復旧しない場合のフローを明らかにすること。
6. ホーム上の安全確保については「確率論ではなく事象を限りなくゼロにしていく」とした以前の会社回答を踏まえ、ハード・ソフト両面におけるワンマン運転実施後の変更点を明らかにすること。
7. 車内秩序維持について客室指令間通話装置で対応していくとしていたが、使用実績と現状における課題を明らかにし、その他の対策について示すこと。

【8月8日付南武線の遅延対策について】

1. 南武線ワンマン運転実施における横浜支社の認識する成果と課題、これに伴う自治体やお客さまの声、社員の意見を具体的に明らかにすること。
2. ワンマン運転実施以降の遅延発生状況とその遅延事由を明らかにし、要因分析の結果に至った具体的な根拠を示すこと。
3. ワンマン運転を起因とする安全に関わる事象の定義を明らかにすること。

次頁へ続く

YOKOHAMA MAIL NEWS

JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION
JR東日本輸送サービス労働組合
横浜地方本部

HOMEPAGE Twitter

2025.09.19 No.004

取り組み内容(ハード面)について

1. ワンマンドアSWの車両システム改修、発車メロディ音量の調整とあるが、それぞれ詳細を示し、現状のシステムを採用した経緯、理由を明らかにすること。
2. 障害物検知装置(3DLR)の設定見直しについて、精度を高めるために検知設定の確認・調整を行うとあるが検証結果と詳細を明らかにすること。

取り組み内容(ソフト面)について

1. 駅や車内におけるご案内の強化について内容を具体的に示すとともに、想定している対策の効果を明らかにすること。
2. 「踏切事故0(ゼロ)運動」の継続的な取り組みの実施について、警備員配置における警備内容と配置する時間帯を示すこと。また、その他に「列車が通過する直前の危険な踏切横断の防止にご協力をお願いする取り組み」を明らかにすること。
3. 川崎駅ホーム混雑対応における一部エスカレーターの運用状況と効果について明らかにすること。
4. オフピーク通勤の推進についてこれまでの取り組みと実績を明らかにすること。
5. 社員の声等を踏まえダイヤの一部見直しを検討とあるが、その内容を明らかにすること。

【検証項目】

1. ワンマン運転実施以降の停止信号での乗降促進・ドア扱い、早閉め・早発の発生件数・ワンマン運転開始前との比較を明らかにするとともに、原因究明の結果を示し解消に向けた対策を講じること。
2. ワンマン運転実施以降の停車駅通過・通過駅停車の発生件数・ワンマン運転開始前との比較を明らかにするとともに、原因究明の結果を示し解消に向けた対策を講じること。
3. TIMS画面によるドア扱いについて成果と課題を明らかにすること。
4. バディコムの使用開始に伴う成果と課題を明らかにし、取り扱い誤りに対する再発防止策と今後の運用について示すこと。
5. 踏切における人身事故等、異常時における駆けつけの体制とその区分、指揮命令系統について明確にし、これまでの事例を踏まえ対応力の向上を図ること。
6. 団臨の乗務員と駅の養成方法・今後の運用についての考え方を示すこと。

【改善項目】

1. 人間工学に基づきTIMS画面によるドア扱いを改め、物理SWによるドア扱いができるよう改修すること。
2. 混雑時間帯における各駅ホームの通勤対策の要員を配置すること。
3. お客さまからの声に基づき、ワンマン運転実施以降、遅延が常態化していることから余裕を持ったダイヤ設定とするとともに、安全確保・異常時対応能力向上のためラッシュ時間帯及び多客が見込まれる場合はツーマン運転を実施すること。

【乗務員の休養に関する項目】

1. ワンマン運転実施に伴い、乗務員の負担増になっていることから安全・健康を考慮し睡眠・食事を目的とした乗務の中断時間を見直すとともに、休日出勤の常態化を是正し適正な要員を配置すること。またワンマン運転における乗務員の特殊性・労働密度について見解を示すこと。

課題ばかりのワンマン施策！

利用者や私たちの声を聞いて誠実に対応すべきだ！